野島活性化プロジェクト 野島活性化基本構想の方向性について(事業例)



将来、プロジェクトが進み、交流拡大と活性化の好循環が生まれる

茜島シーサイドスクールの魅力の向上

- ◆魅力的な情報発信
- ◆交通費の支援策
- ◆野島の強みを生かした授業の実施(総合授業)

漂着物を使ったアート作品制作、 みかん畑等による里山再生、夜間授業の実施、 野島ビエンナーレへの運営参加、

茜島つつじ再生計画、資格の取得を可能に等

◆宿泊施設整備後、宿泊学習等の実施

- ◆学校・空家を活用した宿泊施設の整備
 - ・欠航時の宿泊施設、体験入学時の宿泊
 - ・交流合宿、宿泊学習

(2次利用)

- ・一般市民等の宿泊活用
- ・のしま時間をしっかり体感できる施設整備
- ・交流イベントが可能な施設

野島の利便性の向上

- ◆地域おこし協力隊の定住化支援
 - ・野島の魅力の発信強化
- ◆地域・イベントなどの担い手の配置
- ◆野島海運のダイヤの改正
- ◆空き家等の活用(店舗・高齢者カフェ)
- ◆学校を活用した避難所等の整備
 - ・公共施設の再編(出張所、公民館、診療所)
 - ・安心・安全な地域づくり
- ◆産業の再構築
 - ・野島の特産品など

野島の魅力の再発見

- ◆野島の滞在時間・利用回数を増やす仕組みの構築
 - ・野島ならではの交流イベントの開催
 - ・機運を盛り上げるイベントの開催 (県立大・地元企業による)
 - ・高齢者の健康イベントの開催
 - ・既存イベントへの積極的な参画
- ◆野島の自然を生かしたこどもも高齢者も楽しめる 空間整備(船の待ち時間を楽しむ仕組み)
- ◆空間的なハード整備の実施
 - ・高齢者ウォーキングコース整備、ウェルカム看板設置